

令和3年度 全国学力・学習状況調査

～石狩市における結果の概要～

石狩市教育委員会

はじめに

令和3年5月27日(木)に実施した令和3年度全国学力・学習状況調査の結果がまとまりましたので、掲載します。本調査は昨年度、新型コロナウイルス感染症流行による休校措置の影響で中止され、本年度2年ぶりに国語、算数・数学の2教科についての学力調査と児童・生徒質問紙及び学校質問紙による学習状況調査が全国一斉に実施されました。

■本市の状況

<小学校の学力調査結果>

- 国語・・・正答率は全国平均よりやや低く、全道平均との比較ではほぼ同様（下位）の結果となりました。一昨年との比較では、全国平均との差がやや広がりました。
- 算数・・・正答率は全国平均よりやや低く、全道平均との比較ではほぼ同様（下位）の結果となりました。一昨年との比較では、全国平均との差がやや縮まりました。

<中学校の学力調査結果>

- 国語・・・正答率は全国・全道平均より低い結果となりました。
一昨年との比較では、全国平均との差がやや縮まりました。
- 数学・・・正答率は全国平均より低く、全道平均との比較ではやや低い結果となりました。
一昨年との比較では、全国平均との差がやや縮まりました。

<国語、算数・数学の2教科平均の学力調査結果>

- 小学校・・・2教科平均の正答率が全国平均を上回る学校数は、10校中3校でした。
- 中学校・・・2教科平均の正答率が全国平均を上回る学校数は、7校中1校でした。

<児童・生徒質問紙の結果>

- 改善傾向：①学習習慣等に関わる項目で、「計画的な家庭学習」や「平日の家庭学習時間を1時間以上する」割合が小中学生ともに増加傾向にあります。
②学習に対する興味・関心や理解度等に関わる項目で、国語、算数・数学の「授業の内容がよく分かる」や「学習したことが将来役に立つと思う」割合が小中学生ともに増加傾向にあります。
- 課題傾向：①規範意識・自己有用感等に関わる項目のうち「自分には、よいところがある」では小中学生ともに全道・全国平均より低く、一昨年度に比べて下降傾向にあります。
②基本的な生活習慣等に関わる項目のうち「朝食摂取や就寝時刻」で、小中学生ともに全道・全国平均をやや下回る結果となっています。

<学校質問紙の結果>

学習規律の定着や学習指導・授業方法の工夫・改善が進められていることや家庭学習の定着に向けた学校の取組として「家庭学習への積極的な働きかけ」「補充的な学習指導」等に改善が見られ、「授業中の私語が少なく落ち着いている」と回答した学校が全国平均を大きく上回りました。また、学校力向上のため、コミュニティ・スクールの仕組み等を生かして、地域人材活用や保護者の学校支援活動、小中学校間の連携が着実に進展していることが分かりました。

石狩市教育委員会は、調査結果が児童生徒の身に付けるべき学力の特定の一部であることや学校における教育活動の一側面であることを踏まえつつも、学力面で全国平均に届いていない状況にあることや調査結果で明らかになった実態や取組の進捗と課題を真摯に受け止め、今後の学力向上への対策を各校と連携し進めてまいります。また、本市では「全国学力・学習状況調査」の他に、市独自に「CRT学力検査」を市内全校で実施しています。各校では、それらの調査結果も合わせて分析し、自校の日常の授業改善を図っています。

子どもたちの学力向上のためには、市民の皆様と成果と課題を共有し、学校・家庭・地域が一体となって取組むことが重要であると考えます。今後とも、市民の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

全国学力・学習状況調査の目的及び実施状況

1. 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)上記の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 調査の対象学年

小学校第6学年、中学校第3学年

3. 調査の内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学】
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童・生徒及び学校に対する調査）

4. 調査の方式

平成19年度～21年度：悉皆調査

平成22年度～25年度：抽出調査及び希望利用方式（石狩市は全校が実施）

（但し23年度は東日本大震災のため希望校のみの実施で石狩市は全校が実施）

平成26年度以降：悉皆調査（但し令和2年度は新型コロナウイルス感染症流行のため中止）

※調査問題は、「国立教育政策研究所」のホームページで見ることができます。

「国立教育政策研究所」を検索後、「全国学力・学習状況調査」をクリック

5. 調査実施日 令和3年 5月27日（木）

6. 調査実施学校数及び児童生徒数

小学校及び義務教育学校（前期課程）： 10校で実施 467名

中学校及び義務教育学校（後期課程）： 7校で実施 483名